

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることをもち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

地域の大人と子どもの協働ができるコミュニティの育成
親が育ち、教師が育ち、地域が育ち、子どもが育つ社会

今年度の取組紹介

飛鳥中学校区では、「飛鳥ブランドの子ども」として、一幼・一小・一中の強みを生かして、幼小中をひと続きとして、子どもたちの価値観を多様に育て、子どもたちの豊かな育ちを支援していくために、家庭任せ、学校任せではなく、地域のみinnで地域の子どもたちを育てる為に、常に地域の協働を軸とした取組をしています。幼稚園、小学校では地域の方々との交流と見守りを大切にしながら、次第に子どもたちに役割を渡し、子どもたちの活躍の場を広げ、やがてこの地域の担い手として主体的に関われるよう期待をしています。飛鳥フェスティバルにおいてはコーディネーターが中心となり、幼小中それぞれの園児・児童・生徒が役割を担い、活躍できる場をつくることができました。それ以外にも幼稚園での干し柿作りや小学校でのカヌー体験教室、そして今年度から始めた小・中学校での地域連携による学習支援など、常に地域との協働に取り組んできました。また、コーディネーターが直接中学校生徒と面談する中で、そこから現在の取組の成果と課題を把握し明確化して今後の活動につなげています。また、校区の防災に関しても、地域教育協議会主催で、地域の諸団体や校区の大学とも連携した防災プロジェクトにも中学生や教員、保護者などが参加をし、実際に災害が起きた際のシミュレーションをすることでそれぞれの果たすべき役割と、期待されていることを認識するための取組となりました。一方で小中の授業交流会への地域の方の参加や意見交換を通して、地域で育てたい子ども像を共有し、教職員の意識の向上につなげることができました。



今年度のまとめ

常に地域の方々との協働の中で、子どもたちの中に、地域の方々への感謝の声がふえてきました。その中から、自分もこの地域の一員であることを自覚し、自分はどのように頑張りたいかを言えるようになっていたり、取組ごとにその準備から片付けまでを積極的に行動できました。特に中学校では地域の方の見守りでの学習支援において自尊感情を高め、キャリア教育とし取り組んでいるポスターセッションで、地域の方々に発信することで、自己発信力にも自信を深めているところです。

来年度に向けて

コーディネーターの面談などで明らかになったこととして、子どもたちには「関わり力」「自尊感情」の部分でまだまだ課題が残されています。今後はその醸成に向けて、今年度から始めた学習支援などの分野においても、さらに地域との協働を深めていきたいです。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることをもち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

**地域と関わる学びの中から地域を大切に誇れる生徒を育てる
地域と学校が一体になり家庭の教育力を高め、社会で通用する力を育てる**

今年度の取組紹介

本校生徒の課題である学力向上と自尊感情の醸成を目指し、今年度より地域教育協議会の支援を受けて、毎週1回（定期テスト前は毎日）図書室において学習会（あすかスタサポ）を開いています。毎回、部屋の開け閉め、子どもたちの見守り、学習支援等において地域のコーディネーター、ボランティアの方々に来て頂いています。また、それ以外にも校区に大学があることから、そことも連携をとり、より学習支援に力を入れるために、大学生のボランティアにも毎回複数人参加をしてもらっています。おかげで、テスト前には熱心に生徒が学習に取り組んでいます。それ以外の際の参加数はまだ多くはないですが、それだけに大学生や地域のボランティアの方々にとしっかりと学習支援をしていただいているので、参加者からは、「授業では難しかったけど、すごくよくわかった。」や、逆に授業中には「この問題、この前スタサポでも教えてもらったのでできた。」などの声がありました。また、定期テストで底辺におかれた生徒も少しずつではありますが、学力をつけ、学習に対する自信を深めてきています。



一方で、地域の方を面接官とした面接練習、そして、地域に出かけての職場体験、地域の方々と一緒に野菜を育てたり、販売をする取り組みなど、一貫してキャリア教育の視点での学校と地域のとの連携を進めています。そうやって、将来的にこの地域で期待されている役割をしっかりと担える大人への成長を学校・地域一体で進めています。



今年度のまとめ

地域行事、学校行事、そしてキャリア教育においても、常に地域との協働を基本にすえ、活動に取り組んできたことで、子ども達自身が自分に期待されていることと常に支援されていることをしっかりと理解し、あらゆる面で積極的に取り組むことができました。コーディネーターによる生徒への面談の中でも地域の方への感謝の言葉と地域の中で自分に出来ることを探す姿勢がみられました。また、そのような子どもの姿勢に対する地域からの評価も高まり、次への期待につながってきています。

来年度に向けて

「地域の活動に積極的に関わる」段階から「自ら考え主体的に取り組む」段階に差しかかっています。その基盤となる「人と関わる力」「自分に誇りを持つ力」の育成に向けて、コーディネーターと教職員がしっかりと連携し、地域行事・学校行事での地域との協働を深化しつつ、生徒の学力支援などに取り組んでいきたいです。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることをもち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

地域に根差した学習活動等において、地域の方々がより活躍できる出会いの場を計画し、児童が様々な地域の方々と出会うことで、地域のよさに気づき地域を大切にしようとする意識を育てる。

今年度の取組紹介

今年度より、地域の方々や保護者ボランティアの方々に協力を依頼して、「夏休み宿題サポート学習会」を夏季休業中の7月に開催しました。主に教室準備や受付などの仕事を担っていただいたが、宿題を早く終えた子には、地域で用意した補充プリントを相談して選び手渡すなど、地域の人々が積極的に子どもたちとつながり、地域の教育力を高めることができました。

また、今年度も2学期末に、地域の方々と環境委員会の子どもたちが「葉牡丹の寄せ植え」を作成し、地域の見守り活動に協力いただいている方々や校区の公共施設などに、子どもたちが感謝の気持ちを込めて配り回りました。多くの方から感謝の言葉をいただいたことに加え、1年前に渡した寄せ植えの鉢を大切に保管し返却してくれた方もいて、子どもたちは地域の方々とよい出会いを経験し、地域を大切にしようとする意識につながるよい取組となりました。



今年度のまとめ

学校が実施している町探検などの地域学習、飛鳥C・S協議会が実施しているカヌー教室、育友会が実施している学校図書室整備などといったボランティア活動など、年間行事として定着している取組に地域の方々が当たり前のように参加していただける体制になったのは、ひとえに毎月のコーディネーター会議によるところが大きいです。地域の教育機関や諸団体をつなぐ地域ネットワークの充実が、地域の活動を担う新たな人材の広がりへとつながっています。地域の方々と子どもたちの出会う場面がより増えたことで、地域の方々の学校に対する思いが、より子どもたちに伝わった1年でした。

来年度に向けて

今年度は、地域の方々が小学校に足を運ぶ機会が多くなりましたが、来年度も一層、小学校が地域の教育力を支え高める拠点として機能できるようにしていきたいです。そのためにも、しっかりと見通しと計画をもって個々の事業を実施するとともに、活動に対する評価を適切に行い、より充実した取組となるよう努めることで、地域と学校の継続的な連携を図り、子どもたちと地域をつないでいきたいです。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることを 持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

地域の一員として、友達や地域の方々や文化財にかかわり、親しみや感謝の気持ち、大切にしようとする心を育む。

今年度の取組紹介

○ サッカー遊び

地域にあるフットボールクラブのコーチを招いて年9回サッカー遊びを実施しました。サッカーを通して体を動かす心地良さを感じ、友達と力を合わせる大切さに気付いたり負けた悔しさを味わい、あきらめずに頑張ろうとする気持ちが育ってきました。返事や挨拶も大きな声でできるようになりました。

○ 保育園との交流

年間を通して何度も交流を重ねました。園に来てもらって一緒に遊んだり、保育園に行かせてもらって、乳児さんと触れ合ったり、給食をいただいたり。回を重ねるごとに、友達が増え、コミュニケーション力もついてきました。

○ シルバー交流会

公民館に出かけていき、シルバー教室の方たちと一緒に手遊びや昔遊びをしました。一緒に遊ぶ中で信頼感や親しみの感情が生まれ、地域の方に見守られているという安心感を味わいながら楽しいひと時を過ごしました。



今年度のまとめ

- 行事ごとに地域の方が参加してくださったり、手伝ってくださったりして、地域の方々と触れ合いの場を多く持つことができました。地域の方との交流やかかわりを通して、地域の方の温かさに触れ、感謝の気持ちや地域が大好きという気持ちが育ってきています。
- 年間を通して計画的に何度も経験することで主体的に関わり意欲的に取り組もうとする幼児が増えてきました。「おはようございます。よろしくお願いします。」など、進んで挨拶したり話しかけたりするコミュニケーション能力も育ってきています。
- 地域の方々に何度も園に来ていただき「子どもたちの成長がよくわかりました」と言ってくれました。園外で会っても「〇〇さん、こんにちは！」と子どもたちから声をかけてくれるのがうれしいと言ってくれています。

来年度に向けて

- 地域の教育力を得ながら、地域の方々や文化財に触れ、豊かな経験を積み重ねて、今年度の取り組みを継続して実践していきたいです。